

課題設定による先導的人文・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
課題設定型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

メディアの発達によるソーシャル・キャピタルの変質

研究テーマ名

リスク社会におけるメディアの発達と公共性の構造転換～ネットワーク・モデルの比較行動学に基づく理論・実証・シミュレーション分析

責任機関

学校法人学習院 学習院大学

研究実施期間

平成26年10月～平成29年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者兼グループリーダー (社会学グループ) 遠藤 薫	学習院大学・法学部・教授
分担者 佐藤 嘉倫	東北大学・大学院文学研究科・教授
数土 直紀	学習院大学・法学部・教授
グループリーダー (経済学グループ) 上東 貴志	神戸大学・経済経営研究所・所長・教授
分担者 品田 裕	神戸大学・大学院法学研究科・研究科長・教授
貝原 俊也	神戸大学・大学院システム情報学研究科・副研究科長・教授
グループリーダー (情報学グループ) 鳥海 不二夫	東京大学・大学院工学系研究科・准教授

分担者	
栗原 聡	電気通信大学・大学院情報システム学研究科・教授
榊 剛史	東京大学・大学院工学系研究科・研究員

配分（予定）額

（単位：円）

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
9,400,000	10,000,000	10,000,000	600,000

※平成27年度・平成28年度・29年度については予定額

研究目的の概要

「リスク社会」とも呼ばれる現代において、急速に発展するメディアは、ソーシャル・キャピタルの形成と変容に大きな影響をおよぼしている。本研究は、ソーシャル・キャピタルおよび公共性概念を根本から再検討し、現代の重層的メディア環境におけるその変質を解明しつつ、「公共性」の理念のもとにソーシャル・キャピタルの健全な形成の条件を探求することを目的としている。

研究計画の概要

人文・社会科学的な理論研究・社会調査モデル構築など多面的なアプローチを遂行するだけでなく、自然科学的方法論に基づくシミュレーションやビッグデータ分析などの新しい科学的分析を援用することにより、これまでになかった包括的かつ客観的状況分析と、そのダイナミックな未来予測および研究結果の動的表現を実現し、グローバル世界への情報発信を行う。